

事例ファイル:9

医療法人 常葉会

長 与 病 院

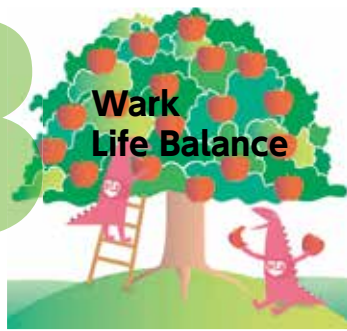
西彼杵郡長与町吉無田郷647

【病院の特徴】

長崎市と隣接する長与町に立地し、急性期病院や地域の医療機関と連携をとりながら、安心して元の生活に戻れるよう多職種との連携で在宅復帰支援を強化しています。「患者様に親しまれ信頼される病院を目指す」という病院理念のもと、積極的に地域との連携を深め望む生活支援の提供に取り組んでいます。



- 【設置主体】医療法人
- 【病床数】120床(地域包括ケア44床、療養病床76床)
- 【病床稼働率】96.4%(2016年)
- 【入院基本料】地域包括ケア入院医療管理料1(13:1)療養病床入院基本料1(20:1)
- 【看護職員数】56人(正規44人、短時間4人、非正規8人)、看護補助者32人
- 【看護職の平均年齢】46.7歳
- 【離職率】4.0%(2015年)



主な取り組み

プラン1

◎始業前超過勤務時間の削減

プラン2

◎超過勤務時間の削減

プラン3

◎WLB制度の周知

1年目(平成25年度)

👑 1年目の成果

- ◆委員会の見直し
委員会は会議時間の短縮とランチョン形式での委員会開催へ変更した。
- ◆看護記録の見直し
活動の見える化として看護業務を洗い出し問題を明確にした。時間外勤務の要因となっていた看護記録を、カルテから切り離しベッドサイドで直接記録ができるようフローシートの活用を行った。また、指示受けの終了時間に音楽を流し医局の協力体制を得て時間外勤務の削減につながった。
- ◆就業規則の見直し
見直しを行うことにより、年間休日数の増加につながった。
- ◆WLB制度の周知
「推進だより」の月1回の発行、ランチョンにて全職員対象の説明会の開催。

2年目(平成26年度)

👑 2年目の成果

- ◆学習会のランチョン形式導入
- ◆介護職への業務移譲
- ◆各種制度の助成
2年目は活動の定着促進に重点を置き活動を行った。
インデックス調査結果において「看護ケアに費やす時間が取れない」の割合が多く、ケア時間の確保のため業務改善と日常生活におけるケア(入浴、清拭口腔ケア、排泄支援、移乗支援、食事介助)について重症症に応じて介護職へ業務移譲を行った。看護職のリーダーシップのもと介護職の自立支援にもつながった。
WLB制度については保育料の一部助成や女性特有の検診費用助成、スポーツクラブの法人入会などが追加され福利厚生生活の充実が図れた。

3年目(平成27年度)

👑 3年目の成果

- ◆業務の効率化に向けた取り組み
パソコン台数を増やして記載に係る時間を削減、薬剤科との協議によりラベルソフトの導入、また薬剤の一包化を進めることで、超過勤務時間の時間短縮に繋がった。
- ◆介護職の業務拡大
- ◆他職種とのチーム力強化
超過勤務時間は長時間(10～40時間)の時間外発生者数11名が1名に減少した。
職員の働き方に関して、多様な勤務形態・短時間正社員制度の利用の促進や看護休暇・介護休暇を取得促進することについて、WLB推進に3年間取り組んできた結果、他部署の協力が得られやすくなり、さらに病院全体のWLBに対する意識向上につながった。

「WLB推進事業」現在の状況について

WLB制度自体は病院全体として定着している。現在子育て世代が約4割と多く個人のライフスタイルに合わせた勤務形態を継続し子育て支援に取り組んでいる。
又、介護休業取得者もあり今後もお互い様の風土作りを継続し、一人一人の声を拾い上げ働きやすい環境を自分たちで作っていききたい。

看護部長 岩本美樹